大室山



表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。





平成31年3月31日撮影

新しい時代へ引き継ぐもの ~変わらず守りたい 大室山・さくらの里

主な内容

○3月定例会の概要 ······【P.2】 ○常任委員会だより ······【P.11】

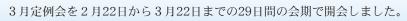
○予算大綱質疑 (7議員が質疑) ······【P.5】 ○土地取得に係る

○一般質問(6議員が登壇) ······【P.7】 監視機能強化特別委員会 ………【P.12】

### 平成31年3月定例会



#### 平成31年度一般会計予算を賛成多数で可決! 7特別会計、2企業会計についても可決





議案番号	件名	概   要	提出者	審議結果
市議第43号	機構改革に伴う関係条例の整備 に関する条例	平成31年4月1日の機構改革において、議会事務局長 を部長級とし、観光経済部競輪事業課の名称を「公営 競技事務所」に変更することに伴う2条例の改正	市長	全会一致 で可決
市議第44号	伊東市職員の公益的法人等への 派遣に関する条例の一部を改正 する条例	ラリンピック競技大会組織委員会に本市職員を派遣す ることに伴う条例改正	市長	全会一致 で可決
市議第45号	伊東市職員の勤務時間、休日及 び休暇等に関する条例の一部を 改正する条例	民間においては、働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律に基づき、平成31年4月から罰則つきの時間外労働の上限規制等が導入され、国家公務員においては、平成30年8月の人事院の「公務員人事管理に関する報告」に基づき、超過勤務命令を行うことができる上限を人事院規則で定めるなどの措置を講じる作業が進められていることに伴う条例改正	市長	で可決
市議第46号	伊東市公共施設総合管理基金条 例	公共施設の長寿命化に関する事業の推進並びに公共施設の計画的な更新及び改修に必要な資金を積み立てるため、伊東市公共施設総合管理基金を設置し、その管理等について定める条例制定	市長	全会一致 で可決
市議第47号	伊東市営住宅の設置及び管理に 関する条例の一部を改正する条 例		市長	全会一致 で可決
市議第48号	伊東市水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道 技術管理者の資格基準に関する 条例の一部を改正する条例		市長	全会一致 で可決
市議第49号	伊東市水道水源保護条例の一部 を改正する条例	近年の多様化した原因による水質汚濁を防止することを目的とし、水源保護地域内の規制対象となる事業場を見直すため、対象事業場の事業に「その他水質汚濁のおそれのある事業」を加え、条を整理する条例改正	市長	全会一致 で可決
市議第50号	伊東市江戸城石垣石丁場跡保存 活用委員会設置条例	平成28年3月に国指定となった「江戸城石垣石丁場跡」の保存活用に関し、必要な事項を調査審議する委員会を設置するための条例制定	市長	全会一致 で可決
市議第51号	静岡地方税滞納整理機構規約の 変更について	地方税法等の一部を改正する等の法律の施行に伴い、 静岡地方税滞納整理機構規約における広域連合の処理 する事務のうち、自動車取得税に関連する事務を削る 変更を行うことについて、当該広域連合を組織する地 方公共団体との協議について、地方自治法の規定によ り議会の議決を求めるもの	市長	全会一致で可決
市議第52号	平成30年度伊東市一般会計補正 予算(第4号)	主な内容として、第一に各種事務事業経費の整理、第二に農林水産業費における水産業振興補助事業の減額及び土木費における国の交付金の減額内示に伴う事業費の減額、第三に平成31年度当初にかけての切れ目ない経済対策事業や、市民の生活環境向上対策事業を実施するための経費の追加など、2億8,361万5,000円の減額	市長	全会一致で可決

#### 市議会だより

議案番号	件名	概要	提出者	審議結果
市議第53号	平成30年度伊東市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	管きょポンプ場建設事業における委託料と工事請負費 などの組み替えが主なものであり、歳入歳出それぞれ において、増減同額の組み替え(予算規模の変更な し)	市長	全会一致 で可決
市議第54号	平成30年度伊東市国民健康保険 事業特別会計補正予算(第3号)	一般被保険者療養給付費の増額や退職被保険者等療養 給付費の減額、各種事務経費等の整理が主なもので、 5,856万8,000円の追加	市長	全会一致 で可決
市議第55号	平成30年度伊東市霊園事業特別 会計補正予算(第2号)	霊園整備基金への積立金の追加や墓所使用者の墓所返 還に伴う還付金の計上など、1,006万2,000円の追加	市長	全会一致 で可決
市議第56号	平成30年度伊東市介護保険事業 特別会計補正予算(第2号)	不足が見込まれる通所型サービス給付費負担金や保険 給付支払準備基金積立金の追加など、2,587万3,000円 の追加	市長	全会一致 で可決
市議第57号	平成30年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	後期高齢者医療広域連合に納付する保険基盤安定負担 金の減額とともに、各種事務経費等の整理を行うもの で、361万円の減額	市長	全会一致 で可決
市議第58号	平成30年度伊東市水道事業会計 補正予算(第3号)	収益的収入においては、検定満期メーターの売却益計上で400万7,000円の増額、収益的支出では、契約委託料差金による委託料の減額が主なもので2,433万3,000円の減額、資本的支出においては、管路耐震化工事の工事請負費の減額が主なもので、1億1,139万8,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第59号	平成31年度伊東市一般会計予算	各会計の概要は5ページをご参照ください。	市長	賛成多数 で可決
	市議第59号 平成31年度伊東市 一般会計予算の組み替えを求め る動議	①HIKARI to YUKATAにぎわい演出事業について、光の整備を行う事業と浴衣の事業を分けて予算化、光の整備を行う事業については、松川遊歩道改修事業における街灯整備を統合、シティプロモーション推進事業のプロポーザル選定とあわせて実施すること②観光戦略を展開するに当たり、プロデューサーなど、統括してイメージ戦略を立てる人材を置く予算を計上すること	議員 2名	賛成少数 で否決
市議第60号	平成31年度7特別会計予算、 2企業会計予算	各会計の概要は5ページをご参照ください。	市長	5ページ をごらん ください
市議第69号	平成30年度伊東市一般会計補正 予算(第5号)	著作者人格権に基づく侵害停止等請求事件訴訟委託料 を計上(予算規模の変更なし)	市長	全会一致で可決
市選第4号	固定資産評価審査委員会委員選 任の同意について	松屋永久氏(川奈)再任	市長	全会一致で 選任に同意
市選第5号	副市長選任の同意について	中村一人氏(松原)新任	市長	
市諮第4号	人権擁護委員候補者の推薦につ いて	富永博道氏(川奈)再任	市長	全会一致で推薦に同意
市諮第5号	人権擁護委員候補者の推薦につ いて	三浦秀子氏(吉田)再任	市長	全会一致で 推薦に同意
発議第9号	食品ロス削減に向けてのさらな る取り組みを進める意見書	内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水 産大臣、経済産業大臣、環境大臣、内閣府特命担当大 臣(消費者及び食品安全)、衆議院議長及び参議院議 長に提出	議員 全会一致 8名 で可決	
発議第10号	妊婦が安心できる医療提供体制 の充実と健康管理の推進を求め る意見書	内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院 議長に提出	議員 8名	全会一致 で可決

て組み替えを求める内容で

ちづくりという観点から観 光施策に関する予算につい

貫したイメージによるま

回提出された動議

は

した。

(詳細は左下枠内)

#### ことばの解説

#### 予算の組み替えを求める動議

議員が首長に対し、予算案を修正した上 で再提出することを求める要望であり、この動議が可決しても、法的拘束力はありま せんが、首長は議会の意思を重く受け止め なければならず、何らかの措置または意思 表示をすることとなります。

#### ■組み替えの内容

- ①HIKARI t o YUKATAにぎ わい演出事業における、光の整備を行う 事業と浴衣の事業を分けて予算化し、光 の整備を行う事業については、松川遊歩 道改修事業における街灯整備を統合して 実施するとともに、一貫した市街地のイ ージをつくり上げるため、シティプロ ーション推進事業のプロポーザル選定 とあわせて実施すること。
- ②観光戦略を展開するに当たり、プロデュ ーサーなど、統括してイメージ戦略を立 てる人材を置く予算を計上すること。

観光戦略におけるプロデュ 整備の関連性を問う質疑や モーション推進事業と光の 答弁が行われ、 においては、 その後の動議に対する質疑 提出者である犬飼議員から に対する質疑を経て、 された後、 賛成多数で可決すべしと決 おける審査結果の報告では 経費の見積り 本動議の説明がされました。 定した旨が委員長から報告 サー等の人材配置に係る 常任観光建設委員会に 局提案の予算案につい 委員会審查報告 議員間で質疑 額、 シティプロ 動議

ました。

に反対する旨の討論を行

求める動議が提出され、

お

般会計予算の組み替えを

平成三一年度伊東市

議

員二名から、

市 東

議第五 新時代。

の討論では、

予算案及び動議につ

41

月一

九

H

伊

求 予

め算

るの

動組 議み

替

え を

いて審議されました。 月二二日の最終本会議に

> ありました。 に係る考え方などの質疑 民協働」 デ ユ ] によるまちづくり サー 0 存在と

採決の結果、 予算案は 予算の 組

数で否決され、 替えを求める動議は賛成 成多数で可決しました。 少

## 《賛成》 正

官官

案に賛成、二会派が予算案 三会派が予算 7 考える。 われ、 ともに、 事業の磨き上げや創設が行

#### 討本 記論の概要 本会議で行 わ れ た

## 市議第五九号

《反対》 本市の施策は、観光・ 伊東新時代。 市

相乗効果を高めるべきであ させることで無駄を省き ているが、 で行われ、 「ないなら、これを変えな 限り結果は改善せず、 生活等、 従前のやり方で効果が 点と点が独立し それぞれの 関連事業は連動 視点 子 ージをごらんください。

#### か 会派構成は10ペー

ŧ 体制は弱く、 戦略など、 不十 分と考え、

《賛成》 自民 • 絆

算についてもその組み方

再考しなければならな

出

よって、

本案に反対する。

億二〇〇〇万円で、

成三

本予算の総額は、

二六四 平.

《反対》 日本共産

は市民、 支援員の勤務時間延長など 育所の増設、 ふれあい収集や小規模保 特別支援教育 た

事後の市政刷新の取り組み 士の雇用も進まない。 対策として有効な正規保育 事業として評価できる。 かし、 職員の声が届い 基幹産業の推進 官民連携の観光 また待機児童 不祥

賛成する

# 風改革クラブ

〇年度予算総.

額を八億

アップによる市政運営によ 事業のさらなる前進に向け、 現されることに期待を込め るい伊東のまちづくりが実 事業の選択と集中を行うと 市長公約の三本柱に係る 賛成する。 市民が主役となる、 予算が編成されたと 市民の声をもとに 小野市長のボトム 明

### 《賛成》 公明党

予算と言えるため、

賛成する。

意欲が込められた積極的な

く」ための確実な歩みを示

小野市長就任二年目

ンジ」により、

「未来を拓

いる。平成三一年度の経営 ○○万円上回る額となって

「対話と融和とチャ

レ

うち、 策と市民生活の向 的確な市内経済への活性化 による経済への影響も含め、 休を含めた観光政策の取 の計上と考えるが、 なりとも上向くと判断して んでおり、 平成三一年度予算歳 市税収入の増を見込 消費税率の引き上げ 市内経済が多少 上を期待 一〇連 入の



反対する

## 予算大綱質疑

#### 会派及び会派に所属していない議員から7議員が質疑

~市長施政方針及び平成31年度各会計予算案について質疑~

(質疑順に掲載。文面の掲載量は、構成人数による。会派構成は10ページをごらんください。)

#### 平成31年度 市長経営方針

約柱

和

ャレンジで

「未来を拓く\_

みんながつくる伊東市 みんなが楽しい伊東市 みんなが暮らす伊東市 未来を拓く 取り組み



主

な新規

事

業

○東京オリンピック・パラリンピック関係事業

○テレビプッシュサービス整備事業

○庁舎空調熱源更新事業

○評価替標準地価格鑑定委託事業

○地方税共通納税システム導入事業

○ふれあい収集事業

○認知症対応型共同生活介護整備補助事業

○看護小規模多機能型居宅介護整備補助事業

○JR伊東駅舎内観光案内所整備事業

○一碧湖遊歩道整備事業

○小室山公園テニスコート改修事業

○プレミアム付商品券事業

○富戸漁港南物揚場改良事業

○道路台帳等デジタル化事業

○小中学校施設長寿命化計画策定事業

○市民運動場整備実施設計等業務委託事業

ほか

#### 平成31年度各会計予算

◎=全会一致で可決、○=賛成多数で可決(単位:千円、%)

会	計別		区分	当初予算額	前年度 対比	審議 結果
	一 般	会	計	26,420,000	103.2	0
特別会	下水	道 事	業	2,134,000	%	0
	競輪	事	業	19,750,000	101.6	0
	国民健	康保険	事業	8,806,000	%	0
	土地	也 取	得	26,100	116.9	0
	霊屋	事	業	27,200	%	0
計	介護	保険事	業	7,923,000	96.9%	0
	後期高	5齢者2	医療	2,008,000	99.6%	0
	病院事	業会	計	746,167	103.0	0
	水道事	業会	計	2,614,063	%	0
	合		計	70,454,530	103.0	_
※						

※病院事業会計及び水道事業会計については、 収益的支出と資本的支出の合計額

%

○南中学校夜間照明設備設置事業 行うことにより、 さまざまな観点から支援を 〇人の社会増を実現したい

住就業支援事業補助

年間三〇

を含め、 情報民療 活動 移住定住促進現地ナビゲー 事 点からの支援を行うこと 療 事業補助金などの B 住 信 居、 地 福 地域おこし協力隊 市全体として 祉、 域 等のさまざま 团 育て・ 交流 体 کے  $\mathcal{O}$ 体 事業

教

育

就

連

携 験

さらに、

現業職

Ĺ 住 ど定の住 ているの いるのか伺うのような効果を住促進事業につ

を つ

ることができる 性が向上し、 高齢者等の日常生活の

利

負担軽減を図

期い



自民・絆 ◎稲葉富士憲議員

中島弘道議員

登壇者=◎

も行う。 には声 ては、 齢者や があるものと考える。 ることで、 減を図ることができる。 して環境課の現業職 に伴 排出することが 利 集するとともに、 高齢化や核家族化 |便性が向上 確実にごみが収集でき 利用者宅に伺い、 一障がい かけによる安否確認 高齢者等の 家庭ごみを集積 期待する効果とし 衛生面でも 本事業は 者等を対象と 困難 日常生活 希望者 負担 員  $\mathcal{O}$ 

戸

が 別

ふれ どの あ (1 いるのか何ない収集事業に 果に を つ 期い

との により、 1標に掲げる、 の 流 社会増を実現したい 総合戦略の れをつくる」 伊 東市 年間三〇〇 新 の基本 ï ビジ 11

進

な高

職員の仕事への誇りにつな がるとともに、ごみ処理業 員 醸成されると考えている。 務に対する市民の信頼感が の提 案によることから、

周

り、

に

# 『その他の質疑』二四項目

正風改革クラブ 正議員 佐山

どのように進めていくのか輸送拠点の整備及びPRは 東京オリンピッ ンピック関係事業における東京オリンピック・パラリ

より一

当たり、

大会開幕に向けて、

幕まで五〇〇日を迎えるに

ベ

<

広く周知していく。 層の機運醸成を図る

#### 整 J 備事業の内容を伺う R 伊 :東駅前観光トイレ

やバス発着場における路面 シャトルバス乗降場の整備

トイレにしてい 特に女性が使いやすい 観 光

本から無償で借り受け、 から、その場所をJR東 去されることになったこと 現在のタクシー案内所が撤 が 定であったが、JR東日本 既存のトイレを改修する予 行う駅舎の改修に伴い、 初 0 計画におい 7 新 は

場としている駅前東側広場

駅が観客輸送の拠点となる

現在、

大型バス駐車

ローム等で開催され、

伊東 口

自

転車競技が伊

豆べ

K

ルバスの乗降場として活用 を駅と会場とを結ぶシャト

観客を迎えるに当た

二日で東京オリンピック開 発に努めてきたが、三月 デュオ等で自転車競技の啓 に伊東ショッピングプラザ PRについては、 するなどの路面整備を行う。 スレーンのエリアを明確に ス発着場における乗客とバ ための措置として、 のフェンス等の改良やバ 安全性と利便性を確 円滑に乗降する これまで 配置し、 規 性トイレには、 荷物を置けるスペース、 多目的ブースや親子トイレ トイレにしていく。 特に女性が使いやすい観光 イン化はもちろんのこと、 できる広めのブースなどを コーナーや子供の着がえが のトイレを整備する。 在の設計においては

パウダー

女

ユニバーサルデザ

『その他の質疑』一 七項目



市民民主クラブ 四宮和彦議員

行政が行う事業モデルはど地域振興を推進するに際し、に合致し、評価できるが、う行政の新たなモデル転換 ホーム・ビルダーへ」とい プロバイダーからプラット 業という点は「サービス・ 組みづくり」に特化した事 ト地推進事業について、「仕 在型リフレッシュリゾー

重要である 実施していく土台づくりが 市民や民間団体、 提案される施策等を 行政が連

公明党

鳥居康子議員

体の 延長、 向上、 を図り、 を担い提案される新しい 携協力し、 市民や民間団体、 ビスを提供するだけでなく のであり、 主役の伊東市」と重なるも 私が提唱している「市民が へ転換するという考え方は らプラットホーム・ビルダー サービス・プロバイダーか ついて調整を図っている。 予約のワンストップ窓口 ていくため、宿泊や体験 光施設等の関連団体と連携 市南部地域の宿泊施設や観 策等を実施していくため 本事 在、 サービスの提供では 消費の拡大につなげ 市内での滞在時間 来遊客の利便性の 業の中心となる。 それぞれの役割 市が単なるサー 方的 な自治体 行政が連 0 施 0

効果を伺う 大について、 見込まれる

幼児教育無償化

る拡

より、 三歳から五歳までの全ての 声が届いている。 者から大変ありがたいとの 教育無償化につい 期における質の高い教育機 めがかかるとともに、 償化が実施される予定であ のゼロ歳から二歳児まで無 子供及び住民税非課税世帯 月からは国の施策とし ている入学前 ものと考えている。 会の創出につながって をあわせて実施することに また、他の子育て支援施策 経済的負担が一層軽減され ることから、 本市が国に先駆け 少子化の進行に歯ど 子育て世代の 一年間の幼児 本年一〇 て、 実 施 7

『その他の質疑』 九項目

くことが重要である。 土台となる環境を築いて

『その他の質疑』一九項

自

ていることから、

新年度に

ビリアの供給が困難になっ

現状、

多色咲きブーゲン

おいては、既に植栽されて

いるブーゲンビリア等の維

広く市民との協働で事業をの推進計画を伺うとともに、ゲンビリアについて、今後 花でおもてなし事業のブー める考えはないか



日本共産党 重岡秀子議員

計を引っ きると考えるが、今後のちい層の意見を聞くことがで より幅広 針を伺う タウンミーティングは、

も、 中で、より参加しやすい日 開催日や開催時間について 期間で開催を予定しており、 対象に、六月から一二月の ことを目的に実施している。 把握し、 より、世論の動向を正しく 皆様の生の声を聞くことに ていきたい。 い、より多くの地域住民 については、 方々からのご意見を伺 の設定に努め、 地域タウンミーティング 新年度も市内一五カ所を 地域の方々と相談する 市政に反映させる 直接地域に伺 幅広い層

いる。

実行委員会について

委員長の不在などによ 一時休会となっており、

で市民と協働し、

新たな実

行委員会の組織化も検討

ていきたい。

『その他の質疑』

六項目

『その他の質疑』一〇項目

開できることになった時点

多色咲きの供給が再

するための経費を計上して 持管理と伊東駅前等に設置

日や昼間にも開催するなど



伊東新時代。 犬飼このり議員

6議員が登壇/市政全般について質問

的に医師不足が見込まれる

ことが明らかになり、

また、

看護師不足も大きな社会問

る推計結果において、

全国

に必要とされる医師数に係

厚生労働省の二〇二四

## 医療従事者については一定 数の確保はできている

平成三一 年二月一日現在, 非常勤

伊東市民病院における医師 保及び今後の対応策を伺う 看護師等の医療従事者の確

正風改革クラブ 正議員 佐山

応策及び見通しを伺う。

在籍しており、 等を含め四六六人の職員が 伊東市民病院には、 うち医師が

『その他の質問』

六項目

困難さも実感している。 在等の課題もあり、 の確保はできているが、 療従事者については一定数 た看護職が二二八人等、 者の絶対数の不足や地域偏 七〇人、准看護師等も含め 万で全国的には、 そのため、 地域医療振興 医療従事 確保の

すい環境を整備することで の充実を図っていく。 積極的に行 協会のネットワークを活用 である研修医の受け入れや 続き医師確保に最も効果的 る。今後についても、 るよう取り組みを進めてい 医療従事者の確保につなが 金を支給するなど、働きや き九〇〇万円を限度に交付 就業支度金として一人につ 常勤医師の新規採用に対し 者の就業を支援するため 〇年度から新たに医療従事 対する支援に加え、平成三 確保のための奨学金制度に 協会が行う助産師・看護師 したリクルート活動なども **入学の医局や地域医療振興** 1, 医療従事者 引き

者について、必要人数が確 護師を初めとする医療従事 伊東市民病院の医師及び看 題となっていることから

を伺うとともに、今後の対 保されているか現在の状況



自民・絆 青木敬博議員

いかがか を図り、労働力が不足して することで、業務の省力化 いる部署に人員を補塡する 市役所業務にAI等を導入 ことができると考えるが、

がか。 省力化を図ることで、確保 もできると考えるが、 ている部署に補塡すること AI等の導入により業務の た労働力を人員が不足し 化している状況があるが 職員の長時間労働が常 いか

### でなく、職員の長時間労働 非常に有効な手段である の短縮にも寄与するもので 労働力不足を解決するだけ

まとめた報告書によると、 テーマとして、昨年七月に 口減少社会への対応を 総務省の有識者研究会が

> あると認識している。 年齢人口の減少が加速する の省力化は不可欠なもの 足が挙げられており、業務 に、深刻な若年労働力の 直面する課題のうちの一つ と推計される中で、 総人口の三分の一を超える 〇〇〇万人とピークに達し、 とともに、 一〇四〇年にかけて、 高齢者人口が四 行政が 生

体では、 考えている。 非常に有効な手段であると するものであることから 決するだけでなく、 例もあり、労働力不足を解 て、 長時間労働の短縮にも寄与 施設入所者の選考等におい このような中、 AIを導入している事 会議録作成や保育 他の自治 職員の

く が多いため、 は、 査・研究に努めていく。 状況を参考にするなど、 コスト等において不明な点 参考となる事例が少な 導入可能な分野や効果 かし、 導入に当たっ 他市町の導入 7

『その他の質問』 三項 自

ことができる。まちづくり

ねない事案であると言う



市民民主クラブ 四宮和彦議員

ちづくりに視点を置いたと 県立高校統合について、 きに、どのように関与して くべきと考えるか ま

に影響を与えており、 文化ホール建設計画の進捗 11 づくりに大きな支障を来し 性によっては、本市のまち の再編は、 ではない。現に、県立高校 援会だけが考えればよい話 や保護者、各校同窓会や後 問題であり、本市の中学生 りにも大きな影響を与える するかは、本市のまちづく のような高校をどこに設置 であるかもしれないが、 び県教育委員会の所管事項 て、県立高校は静岡県及 市内県立高校の再編につ 本市の図書館 方向 ピ

べきと考えるか伺う

はどのように関与してい

<

課題解決を図っていきたい 常に大きいことを踏まえ 展に果たしてきた役割が非 市内三校が、 地域社会の発

ずは、 県や県教育委員会にしっか ると考えている。 りと届けることが重要であ 方々を初め、市民の声を 発展的な改編となるよう、 を担う生徒たちのために、 本市の関与については、 同窓会等の関係者や地域の まちづくりに視点を置い 県立高校統合に対する 本市の高校が、将来 ま

中学校ともに無償化は全自

食費無償化の状況は、

治体の四・四%、

一部無償

ば、

文部科学省の調査によ 平成二九年度までの

構想高校の設置にかかわる が、地域社会の発展のため 教育委員会とも連携を図 諸課題についても、県や県 に果たしてきた役割が非常 きたいと考えている。 つつ、まちづくりの視点も に大きいことを踏まえ、 7.切にして解決を図って また、これまで市内三校 新

減を初め、

低所得者世帯や

助については、主に多子 また、一部無償化と一部補 要因であるとされている。 童・生徒数が少ないことも 町村での実施が多く、

『その他の質問』 六項目

の考えを伺う。

たは負担軽減に対する本市

学校給食費の無償化ま

化させる必要があることか えて、本市でも議論を活発 にしている。これらを踏ま ひとり親家庭の児童を対

立高校統合に対して、

に視点を置いたときに、

考えを伺う 学校給食費の無償化または 負担軽減について、

日本共産党 佐藤龍彦議員

%

規模の大きな市ではなく

と決して多くはない。 化や一部補助は二四・

人口 兀

## 現時点では、公平性や受益 者負担の観点からも難しい

考えている。 の観点からも難しいものと では、公平性や受益者負担 費は年間約二億四〇〇〇万 費負担することは、現時点 を公費で負担しており、給 食費の全部または一部を公 として約二億六〇〇〇万円 本市の小・中学生の これ以外にも運営経費

的な負担軽減を図る面から どを研究していきたい。 先進自治体での事業効果な りを見せていることから、 ものと思われ、また、無償 も「子育てのしやすいまち 償化は、子育て世帯の経済 化の動きは全国的にも広が づくり」に向けた施策とし なお、学校給食費の負担 しかし、学校給食費の 大きな魅力につながる 無



伊東新時代。 このり議員

組み状況を伺う 日 s)の推進に向けた 持続可能な開発目標 s)の推進に向けた取り SD 犬飼

< 及び取り組み状況を伺う。 推 えることから、SDGSの 識を持つことが不可欠と考 標達成には行政だけではな 相当すると思われるが、 可能な開発目標 多くは、 (エスディージーズ)) :進に向けた本市の考え方 本市が行っている事業 市民一人一人が問題意 国連が示した持続 SDG s に 目 0

ある。

## れまでも行政として取り組 多くの部分については、こ んできたものである

伊東市長等

択され、 包摂性のある社会の実現の ない」持続可能で多様性と の国連サミットにおいて採 SDG st, 誰 二 〇 五 人取り残さ 年

『その他の質問』

項目

弁護士などを配置した公益 問題を通報する窓口として 政の法令に違反するような

のか研究していきたい。

理由で就学が困難な家庭に

軽減については、経済的な

就学援助制度の中で給食費

緩助を実施してしている。

『その他の質問』

五項目

況は、 平な質の高い教育を提供し、 べての人々に包摂的かつ公 人々の健康的な生活を確保 市の考え方及び取り組み状 指標が定められている。 する一七の国際目標と一六 「あらゆる年齢のすべての のターゲット、二三二の 福祉を促進する」「す 二〇三〇年を年限と 七の目標のうち 本 益通報者保護制度の整備! 政の法令違反を通報する公 弁護士等を窓口として、

と考えているが、具体的な 課題の解決に貢献し、一人 は、地方自治体における諸 して取り組んできたもので る」など、多くの部分につ 生涯学習の機会を促進す ような取り組みがふさわし 事業の取り組みについては することを目標とする、地して営める地域社会を形成 いのある豊かな生活を安心 いては、これまでも行政と 方創生の趣旨に資するもの 人が夢や希望を持ち、 成果を見極めつつ、どの が実施するモデル事業等 一七の目標への追求 潤 このような制度があって、 措置を市の執行機関に報告 問題を職員等が見つけた場 まえ、 いかと考えることから、 初めて有効となるのではな の政治倫理に関する条例も、 が必要である。 しながら調査を進め、是正 員等のプライバシーを保護 窓口に知らせ、 革する必要があると考える るために行政のあり方を改 ついて伺う 前 法令に違反するような 解決を図るという制度 弁護士などの外部通報 市長による不祥事を踏 市民の信頼を確保す

通報した職

日本共産党

### 重岡秀子議員

## かがか。 必要があると考えるが、

通報者保護制度を整備する

とを受け、 化を求める意見があったこ する条例の審議の際、 伊東市長等の政治倫理に関 検討を始めた 制度

行

いて、 が望ましいのか、 等を配置した窓口を設ける 理に関する条例の審議の際 参考にする中で検討してい 面 のような形で設置すること いるが、本市にとって、 よう努める」と規定されて おいては、「外部に弁護士 応に関するガイドラインに えた地方公共団体の通報対 たところである。 たことを受け、 制度化を求める意見があっ いては、一二月定例会にお も含め、 公益通報者保護法を踏ま 公益通報者保護制度につ 伊東市長等の政治倫 先進地の状況を 検討を始め 費用的な ど

『その他の質問』 六項目

#### 9

### 議 研

められています。 各地で発生しており、各自 治体では防災力の強化が求 **大型台風などによる災害が** 近年、 罹いたしました。 上を目的に議員研修会を 月 地震や集中豪雨 一日に議員の 資質

関する現状や課題を共有す 必要があることから、研修 役割について検討していく や災害時の的確な対応を理 るとともに、防災の心構え ノターのセンター長である 議会においても、 議会や議員の果たす 静岡大学防災総合セ 防災に

## 伊豆高原メガソーラー ーク発電所現地視察

三月二二日、

三月定例会 彦議員が

議員の

辞職

職しました。 閉会後に杉本

意見がありましたことから、 ついて、 ク発電所建設計画の現状に しました。 会として議員が現地を視察 た上で、二月八日に本市議 事業者と協議し、 をしていただきたいとのご グ」において、 と議会の交流ミーテ しました議会報告会「 豆高原メガソーラーパー ○月及び 議員にも現地視察 参加者から 承諾を得 月 1 市 開 催

研修会の様子

ました。)

(本視察は非公開で行わ

構築へ」と題し講演をして 識を深めました。 岩田孝仁氏を講師にお招き いただき、防災に関する見 「減災から防災社会の

職員も参加しました。 員のほか、本市関係部署の 本研修には、本市議会議

#### 6月定例会の予定

#### 月18日(火) 開会

※日程等は、6月中旬の 議会運営委員会において 正式に決定します。

## 会派離脱

※会派「伊東新時代。」の消 (新)会派に所属していな **大飼このり議員** 

17

## 会派の消滅

る

# 議会内の異動

市議会内の会派構成

三月定例会閉会まで

正

風改革クラブ

山口

嘉昭

議

議員

※杉本一彦議員の辞職によ 伊東新時代。

## ■三月二二日

### 2月18日 議会運営委員会

閉会中の議会活動

※平成30年12月定例会閉会後から 平成31年3月定例会開会まで

12月17日 土地取得に係る監視機能強化特別委員会

1月8日 土地取得に係る監視機能強化特別委員会

1月22日 土地取得に係る監視機能強化特別委員会 1月30日 土地取得に係る監視機能強化特別委員会

による提言書を市長に提出

2月13日 常任観光建設委員会協議会 2月13日 伊東市議会議員研修会

平成30年~平成31年

1月11日 議会報編集委員会 1月21日 議会活動活性化協議会

## 自民・

土屋

進 司 正

清

敬博 勝弘

議員

## 大川

◎稲葉富士憲 弘道 議員 議員

## 市民民主クラブ

◎四宮 克政 和彦 議員 議員

### 浅田 鈴木 良弘

## ||公明党

議

## 康

子 議員

### 長沢 正

議員

## 日本共産党

龍彦 議員

## ◎重岡 佐藤

秀子 議

## 一伊東新時代。

会派に所属していない 犬飼このり 彦 議員 議員

◎杉本

#### ◎は代表者、 横沢 会派構成議員は 勇 議員 議

議席順

### 常任委員会だより

~常任委員会審査の中から~

◆詳細は、6月中旬発行予定の3月定例会会議録の委員会審査報告をごらんください。

#### 総務委員会

- 問 東京オリンピック・パラリン ピック競技大会組織委員会へ職 員を派遣する目的等を伺う。
- 答派遣要請に応じるものであるが、伊豆市開催の事業に携わることとなれば、本市からの輸送等の事業で連携を図れるようになるほか、世界的な大事業に直接携わることで、他の業務では経験できない貴重な経験ができ、人材育成のためにも有効である。
- 問 ふれあい収集の実施概要及び 実施体制を伺う。
- 警職員提案により事業化したもので、みずからごみを搬出することが困難な高齢者や障がい者などの世帯を対象に戸別収集を行う。ふれあい収集班は、2人体制2組及び予備として通常収集との兼務者4人の8人体制を予定し、1世帯につき週1回、全品目のごみを収集する。

対象者の方が安否確認を希望 される場合には、戸別訪問の際 に声かけを実施する予定である。



週1回の戸別収集 (ふれあい収集イメージ)

#### 観光建設委員会

- 問 水道水源保護条例の改正について、施行期日までの期間を3カ月とした理由を伺う。
- 答水源保護地域のほとんどが民有地であり、民有地に制限をかけることとなること、また、水道水源保護審議会で審議いただいた事業計画基準が重要となることから、その周知期間を含め3カ月程度が妥当と判断した。



水道に係る水質の汚濁を防止し、 清浄な水を確保する

- 問まちづくりに係る計画等がすでに複数ある中で、新たに立地 適正化計画を策定する意義について伺う。
- 答中心市街地周辺に居住を誘導し、中心市街地周辺に居住を誘導し、中心市街地には利便施設を配置し、その間を公共交通機関のネットワークでつなぎ、コンパクトなまちづくりを目指す、都市計画マスタープランを具体的に方向づけするものである。別荘地として発展してきた本市の特性及び人口減少が危惧される中において、重要な計画であると認識している。

#### 福祉文教委員会

- 問 肺がん検診委託料の増額理由 を伺う。
- 答 肺がん検診の受診率が低い状況にあり、その原因については、胸部エックス線写真を2人で読影する必要があるが、医師会所属の医療機関では医師が1人のところが多いため、委託が進まず、受診率が向上しなかったことにあり、今般、伊東市民病院と連携し、委託できることとなったため、増額したものである。
- 問 伊東市江戸城石垣石丁場跡の 学校教育等との連携について伺 う。
- 答 各学校の生涯学習担当教諭を 対象に史跡説明会の開催や出前 授業の案内など、教育資源とし ての利用促進を図っている。ま た、小・中学生の現地見学案内を 地元保存会が行うなど、官民一 体となり学校等への周知に努め ていきたい。



伊東市江戸城石垣石丁場跡

# ~委員会開催~ 平成三一年一月八日

監土

視地 機取

能得

強に

化係

特る

別

委

員

会

開催における意見交

として行政事務全般に関連 不祥事の再発を防止するた に反映させることを目的と 得業務に係るマニュアル 討委」)が作成する土地取 直し検討委員会(以下「検 の提案を取りまとめました。 視機能強化に係る制度改正 定することとしました。 委員から具体的に提案を出 係る制度改正について、 防止策及び監視機能強化に 換をもとに意見集約シート して提言するもの、 については、 してもらうことで、当局へ (以下「市マニュアル」) 検討について、委員から 提言の内容等を精査・ 市土地取得に係る業務見 事前配付し、 決定した提言内容 再発防止策及び監 制度等の改善策 行政当局の伊 または 決

> しました。 時に意見を出し合うことと 考にするために、 等に関し、 ク機能を高めるための方策 については、 今後取り組む事項等の協議 決定をすることとしました。 おいて、 た、次回の本特別委員会に ることを確認しました。 して提言するものを区 示することで、 そのほかに、議会として 提言書の案文を提 今後の協議 議会のチェッ 提言の最終 次回開催 の参 一分す ま

> > 事

ることとしました。

長に対して提言書を提出 議会を代表し、議長から市

### 平成三一年一月二二 委員会開 催 日

提言書 することとしました。 調整を行い協議した結果 いて確認をした上で、 いて協議をしました。 作成した提言書(案) 前回 提示された提言内容につ |開催の決定に基づき (案) のとおり決定 意見

ニュアルに反映させること 検討委が作成する市マ

> 制度等の改善策としての提 発を防止するための事務 を目的とした土地取得業務 の提言及び土地取得業務 不祥事の再 とから、平成三一年三月定 例会において最終報告をす ることとしました。 異議なく了承され

にとどまらず、

## 平成三一 市長への提言~

市 長に対し、



議会を代表し 市長に提言をする

ては、 のチェック機能を高めるた 本特別委員会の決定事項で 報告し、取り扱いを協議す 究に関して意見が出されま などの公共事業の調査・ めの取り組みや、入札制度 こととし、その結果、 にするため意見を出し合う はないものの、今後の参考 ることとしました。 した。これらの意見につい 議会として今後取り組む 項等の協議については 今後の代表者会議に

ることについて諮ったとこ をもって協議事項の全てが 所期の目的を達成したこと 本特別委員会の活動を終え 終了したことの報告があり が終了後、委員長から 本開催における全ての日

# 年一月三〇日

言をすることとしました。

また、提言については、

た提言書を提出しました。 会の結果として取りまとめ 本特別委員

12

平成三一年二月二二 最 終報告~ 百

四

異議なく了承されたことか ることとなりました。 日において最終報告をし、 本特別委員会は消 -成三一年三月定例会初

きましては、市議会ホームページ※本特別委員会「提言書」等につ をごらんください

市

議会に関するご意見

## 編 集 後

たこ

復に努めてまいりました。 表明にほかなりません。「令 進めていく議会の強い意志 ゆまぬ努力のもと、改革 市議会史上、先例はなく、た らの特別委員会報告は、 から、議会も市民の信頼 件が立て続けに起きたこと 政・議会の信頼を損なう事 設置に係る条例制定をめ に、再スタートを切る新し 和」の時代の幕開けととも らに、佃前市長の逮捕等、行 スタートとなりました。さ る論争を受け、 前年度末の太陽光発電設備 市議会にご注目ください。 三月定例会冒頭の壇上 平成三〇年度の市議会は 波乱含み

## 議会報編集委員

副委員長 委 委 員 " " 長 員 大山佐 居 口藤 和 弘昭彦

# J質問は議会事務局へ

TEL/0557-32-1981 ■FAX/0557-38-6916